

平成19年4月に統合される県立高校の校名について

本日の定例教育委員会において、「生徒いきいきプラン」の実施により平成19年4月に統合される県立高校の校名（仮称）を決定したので発表する。

なお、これらの校名については、平成18年第1回県議会定例会（2月開会）において「岐阜県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」案として上程される。

1 決定した校名

は設置場所を示す。

か も
岐阜県立**加茂**高等学校 （**加茂高校**と白川高校を統合）

美濃加茂市と加茂郡に所在する高校の統合校であることから、共通の地域名に由来する「加茂高等学校」を校名とします。

伝統校であり、地域の中心校のひとつとして愛され親しまれている校名を引き継ぎます。

え な み な み
岐阜県立**恵那南**高等学校 （岩村高校と**明智商業高校**を統合）

新恵那市南部に所在する高校の統合校であることから、所在地である新恵那市南部の地域名に由来する「恵那南高等学校」を校名とします。

な かつ
岐阜県立**中津**高等学校 （**中津高校**と恵那北高校を統合）

新中津川市に所在する高校の統合校であることから、新中津川市が歴史的に中津町を中心に発展してきたことに由来する「中津高等学校」を校名とします。

伝統校であり、地域の中心校のひとつとして愛され親しまれている校名を引き継ぎます。

2 校名選定の基本方針について

一般の方々からの意見、該当校の生徒・保護者、同窓会などの学校関係者の意見を参考に、統合後の高等学校の姿や生徒の主な通学地域の状況などを総合的に考慮して決定した。

3 校名選定のための意見の聞き取りについて

(1) 該当校における学校関係者からの意見

該当校の同窓会長、PTA会長、学校評議員など学校関係者については、個別に意見を聞いた。

(2) 公募による意見

募集期間 平成17年7月21日～平成17年11月4日

応募方法

該当校と県教育委員会（学校政策課）を窓口として、校名に関する意見を募集した。

特に、該当校では自校の生徒や保護者に加えて地域の中学生（通学圏にある地域の中学生）とその保護者など幅広く地域の皆さんの声を募集した。

応募状況 応募総数 6,020通

具体的な校名案 561案 同一案は重複して数えない

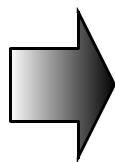
4 高校の姿

(1) 加茂高校と白川高校の統合校

加茂高校 美濃加茂市本郷町2-6

加茂高校 普通科・理数科
美濃加茂市本郷町2-6

白川高校 普通科
加茂郡白川町河岐1480



普通科及び理数科を設置し、
多様な科目が選択できる高等学校

(現加茂高校の場所)

多様な科目が選択できる高等学校

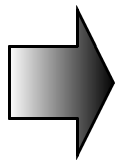
「普通科」「理数科」の学科を設置し、理系の科目・文系の科目を幅広く開設し、生徒の興味関心と進路希望に対応し、生徒の個性、能力を伸ばす教育を行います。

(2) 岩村高校と明智商業高校の統合校

恵那南高校 恵那市明智町大庭41-2

岩村高校 普通科
恵那市岩村町133-3

明智商業高校 商業科
恵那市明智町大庭41-2



総合学科の高等学校

(現明智商業高校の場所)

総合学科の高等学校

総合学科は、従来の普通科と専門学科の良さをあわせ持った学科。関連ある科目をまとめた「系列」を持ち、豊富な選択科目の中から各自の興味関心、進路希望に応じた科目を選択できます。

設置する総合学科の系列

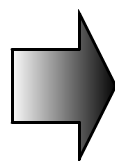
普通科の内容の系列、商業科の内容の系列、家庭生活、福祉・健康や保育などに関する科目を学習できる系列を設置します。

(3) 中津高校と恵那北高校の統合校

中津高校 中津川市中津川1088-2

中津高校 普通科
中津川市中津川1088-2

恵那北高校 普通科
中津川市田瀬125-3



普通科の全日制単位制高等学校

(現中津高校の場所)

普通科の全日制単位制高等学校

全人的教育と進路実現を目指す全日制の普通科高校
単位制(必要な単位を修得すれば卒業をすることができる)高校の特長を生かし、生徒一人一人の進学希望を実現できる科目選択と、少人数での授業などきめ細かな指導を実施します。

恵那南高校の総合学科の系列名等については、平成19年度県立高校学科改編の発表時に明らかにいたします。